

特 研 総 第 2 - 2 6 号
平成29年10月26日

国 公 ・ 私 立 大 学 長
都道府県・政令指定都市教育委員会委員長 殿
関 係 機 関 長

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
理事長 宍 戸 和 成
(公 印 省 略)

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所研究職員の公募について（依頼）

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システム構築に向けて、特別支援教育に関する教育課題に対応した実践的研究及び特別支援教育担当教員等の指導者研修等を行っている文部科学省が所管する研究機関です。

このたび、下記の要領で研究職員を公募いたしますので、貴管下の関係者に御周知くださるようお願いいたします。

記

- 1 採用予定職種 主任研究員（研究職3級）又は研究員（研究職2級）
（採用職種は、経歴等を勘案して決定する。）
- 2 任 期 任期なし。ただし、経歴等を勘案し、任期付（任期は3年以内、再任あり）となることもある。
- 3 募 集 人 員 1名
- 4 担 当 職 務 主として、下記の全ての職務に従事する。
 - （1）障害のある児童・生徒のキャリア教育、障害者雇用、福祉・労働機関等との連携など学校段階を終えた後の就労等への移行に関する研究
 - （2）本研究所が実施する研修等における講義・実習等及び本研究所が実施する諸事業の担当
 - （3）所属部署における業務
- 5 応 募 資 格
 - （1）修士以上の学位（採用予定日までに取得見込みを含む）又はそれと同等の研究業績を有すること。
 - （2）キャリア教育又は障害者雇用等に関する研究業績があること。
 - （3）教育機関、障害者就労支援機関、福祉機関、医療機関等において、障害者の教育、相談・指導、就労支援等の業務の経験があることが望ましい。
- 6 採用予定日 平成30年4月1日

7 応募期限 平成29年11月27日(月)(必着)

- 8 提出書類 (1) 履歴書(写真貼付。なお試験・検定等により語学力を証明できるものがあれば、その内容を付記してください。例: TOEIC L&R 650点)
- (2) 研究業績目録(著書、論文、学会発表等に区分し、書名、題名、発表誌名、発行所、発表学会名、発行・発表年月日、著者名・共同発表者名等を明記したもの)
- (3) 主要研究業績(著書又は論文の現物(又はコピー) 5点以内)
- (4) これまで取り組んできた教育活動(教育相談及び研修会講師等の実績を含む。)、審議会、調査会、協力者会議、教育研究団体、学協会等での活動及びその他の活動の記録
- (5) 小論文「あなたは、障害のある児童・生徒のキャリア教育や学校段階を終えた後の就労等への移行の充実のため、どのように取り組みたいと考えますか。本研究所の使命・役割にも触れながら具体的に記述してください。」
(A4版で2,000字以内)

※ 下記については、選考の過程で提出を求める場合があるので、その際には別途本人に対し連絡します。

①健康診断書(公的機関発行のもの)

②大学及び大学院の卒業(修了)証明書

- 9 選考方法 第一次選考: 書類選考【平成29年12月中旬頃結果通知予定】
第二次選考: 面接選考(第一次選考合格者に対して実施する)
【平成29年12月中旬実施予定】

10 書類提出先 〒239-8585

神奈川県横須賀市野比5-1-1

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課人事係 宛

※ 提出書類は、封筒の表に「研究職員 応募書類在中」と朱書きで明記し、簡易書留または書留小包で郵送すること。

11 問い合わせ先 総務部総務企画課人事係 電話 046(839)6925, 6814 (直)
Eメール jinji@nise.go.jp

- 12 その他 (1) 面接選考における旅費等は応募者の負担となります。(面接日は後日連絡)
- (2) 応募書類は返却しません。また、応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は他に提供することはありません。
- (3) 採用された場合、国の機関(国家公務員)、地方公務員、国立大学法人及び独立行政法人等の職員から引き続き本研究所に在職することとなっても、本研究所での退職手当の算出に係る在職期間は、それらにおける在職期間を通算しないこととなりますので、あらかじめ御了解下さい。
- (4) 本研究所に関する情報はホームページを参照して下さい。
ホームページアドレス <http://www.nise.go.jp>
- (5) 本研究所の研究職員の定年は、満63歳です。
- (6) 本研究所職員の身分は非公務員となります。

2017年10月26日

各諸機関長 殿

立教大学

総長 吉岡知哉

[公印省略]

教員の公募について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本学では、下記の要領で教員を公募することとなりました。つきましては、この旨を関係者に広くお知らせいただきたく、よろしくお取りはからいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 採用職名 助教B
2. 所属 立教大学文学部文学科英米文学専修（立教大学池袋キャンパス内）
3. 研究分野 英語学（英語文献学：英語史、中世英語英文学）・英文学
4. 授業担当予定 入門演習（春・秋学期）、基礎演習（春・秋学期）、演習B（春・秋学期）、海外フィールドスタディ（集中）など
5. 採用数 1名
6. 着任時期 2018年4月1日
7. 任用期間 1年契約（2018年4月1日～2019年3月31日）。本学が必要と認めた場合は、1年毎に連続4回（最長勤務5年）を限度として更新することができる。
8. 職務 学部における授業科目・演習及びそれに関わる業務、入学試験関連業務
9. 待遇 給与、研究費、休暇、福利厚生等は本学規程による。
10. 応募資格 (1) 博士の学位を取得している方、もしくは近い将来に取得が見込まれる方
(2) 日本語を母語とする方、もしくは同等の日本語能力を有する方
(3) 年齢は問わない
11. 応募期限 2017年11月27日（月曜日）必着
12. 提出書類 (1) 履歴書
(2) 研究業績目録
※履歴書、研究業績目録については、立教大学所定の様式を使用のこと。所定様式は立教大学ホームページ（<http://www.rikkyo.ac.jp>）の採用情報よりダウンロードできます。
(3) 2007年以降の主要研究業績（書籍、抜き刷り、該当箇所コピーなど）、日本語論文、英語論文のいずれをも含み、合計3本
※選考の過程で、追加の提出物を求めることがある。
※提出書類は返却しない。
13. 選考方法 提出書類に基づいて審査する。審査の過程で面接を行うことがある。
14. 書類提出先 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学文学部 学部事務1課 宛
※応募書類は、封筒に「英米文学専修助教応募書類在中」と朱書した上、簡易書留で郵送すること。
15. 問い合わせ先 E-mail: bun-kobol7eej@ml.rikkyo.ac.jp

※提出された個人情報には教員任用業務、連絡、手続きのためのものであり、その他の目的に使用することはありません。

以上

広島県採用選考試験

受 験 案 内

平成 29 年 11 月 2 日

広島県総務局人事課

広島県立美術館の魅力向上・活性化に向けて、文化芸術行政に意欲的かつ柔軟に取り組むことができる学芸員（専門分野 工芸（近・現代））を求めています。

■ 受付期間 平成 29 年 11 月 2 日（木）～平成 29 年 12 月 7 日（木）

▽郵送の場合 平成 29 年 12 月 7 日（木）までの消印有効

▽持参の場合の受付時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土・日・祝日を除く。）

■ 第 1 次試験 平成 29 年 12 月 17 日（日）

■ 第 2 次試験 平成 30 年 1 月 21 日（日）

1 職種、専門分野、採用予定人員及び勤務先

職 種	専門分野	採用予定人員	勤務先
学芸員	工芸（近・現代）	1 名	広島県立美術館等

2 受験資格（国籍要件はありません。）

- (1) 昭和 33 年 4 月 2 日以降に生まれた者
- (2) 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）に定める学芸員資格を有する者又は平成 30 年 3 月 31 日までに学芸員資格を取得する見込みの者。もし資格を取得できない場合は、正式採用される資格を失います。
- (3) 次のいずれかに該当する場合は、受験できません。
 - ア 成年被後見人又は被保佐人
 - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ウ 広島県の機関から懲戒免職の処分を受け、その処分の日から 2 年を経過しない者
 - エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 提出書類及び受験申込先

(1) 提出書類

- 履歴書 1部
市販（JIS規格）のものに自筆で詳細に記入し、最近3ヵ月以内に撮影した正面向き、脱帽、上半身の写真を貼ってください。（本籍地の記入は不要です。）
 - ・現住所、郵便番号及び電話番号は必ず記入してください。
 - ・履歴書の上部余白に「選考試験申込（学芸員）」と朱書してください。
- 研究実績（発表を含む。）、調査歴、実務歴等に関する経歴書
当該分野に関する研究実績、調査歴、実務歴等について、以下の様式例に従い、必要な項目について記入した経歴書を作成して提出してください。
- 代表的な研究実績、主要論文等の写し（コピー）1編

【様式例】

すべてのページに記入すること

研究実績（発表を含む。）、調査歴、実務歴等に関する経歴書

氏名 _____ （ 枚目 / 枚中 ）

1 研究実績（卒業論文、修士論文、書籍・学術誌等の編さん・執筆等を含む。）

- ① 論文等名称 ※書籍等の場合は分担部分の名称
- ② 作成年月
- ③ 所収先（書籍、学術誌等）
- ④ その他（書籍、学術誌等への参画の形）

2 調査歴

- ① 調査の名称
- ② 調査主体
- ③ 調査責任者の職・氏名
- ④ 調査期間
- ⑤ 参画の形（主任調査員、調査員、調査補助員等）
- ⑥ 調査内容

3 実務歴（非常勤的任用、インターン等を含む。）

- ① 美術館、所属団体等名称
- ② 実務内容
※展覧会開催実績がある場合は、展覧会名、会場名、開催年、担当業務内容[どのような立場（職名、常勤・非常勤の別等）でどのような業務を担当したか]を記載すること。
- ③ 実施期間
※職歴（勤務場所及び勤務期間）は履歴書の職歴欄に記載し、直接携わった具体的な実務内容（展覧会の開催等）についてのみ記載すること。

（注） 用紙の大きさは、A4縦型（片面）とし、横書きで記載すること。1枚に記載しきれない場合は、適宜用紙を追加し左上をホチキス留めしてください。その場合は、必ずすべてのページに氏名とページを記載してください。

(2) 申込先（問い合わせ先）

〒730-8511 広島市中区基町 10-52（広島県庁南館 3 階）
広島県 環境県民局 環境県民総務課 総務グループ
（電話）直通 082-513-2711

※ 申込は、郵送又は持参によってください。

郵送の場合は、封筒に「選考試験申込（学芸員）」と朱書し、簡易書留郵便で郵送してください。

(3) 受験実施通知（受験票を兼ねる。）は、受付期間終了後、12月12日（火）頃に一括して郵送します。12月14日（木）までに到着しない時は、必ず上記（2）の申込先まで問い合わせてください。

4 試験の方法

区分	試験項目	問題形式	時間	配点	内 容
第1次試験	専門試験Ⅰ	記述式	2時間 30分	30	博物館学に関する専門知識
	専門試験Ⅱ			90	工芸（近・現代）に関する専門知識
	専門試験Ⅲ	記述式	1時間	30	業務遂行に必要な英語の語学力（辞書持込み可）※辞書は紙製のものとし、電子辞書等の電子機器、携帯電話の使用は不可
	アピールシート	記述式	45分	50	これまでの研究や実務等を通じて培った能力、広島県立美術館の学芸員として是非挑戦してみたい事柄に関する自己アピール（800字程度以上）
第2次試験	面接試験	個別面談	—	200	学芸員としての専門的知識・能力、県職員としてのコミュニケーション力・判断力等 ※2段階の個別面接を実施

- (注) 1 専門試験ⅠとⅡは同時に実施します。
 2 第2次試験は第1次試験合格者についてのみ行います。
 3 最終合格者は、第1次試験と第2次試験の成績を総合して決定します。ただし、各試験項目において一定の基準に達しない試験項目が一つでもある場合、他の試験項目の結果にかかわらず不合格となります。
 4 試験当日実施するすべての試験項目を受験した場合に限り有効に受験したものとします。

5 試験の期日、場所及び合格発表

区 分	期 日	場 所
第1次試験	平成29年12月17日（日） 午前9時から（受付開始 午前8時30分）	広島県庁 本館6階 講堂 （広島市中区基町10-52）
第1次試験 合格発表	平成29年12月28日（木）	【本人通知】第1次試験受験者全員に合否を通知します。 【インターネット】合格発表日の午前9時に広島県ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
第2次試験	平成30年1月21日（日）	広島県立美術館3階 大会議室及び小会議室 （広島市中区上磯町2-22）
最終合格 発表	平成30年2月2日（金）	【本人通知】第2次試験受験者全員に合否を通知します。 【インターネット】合格発表日の午前9時に広島県ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

- (注) 1 第1次試験の終了時間は午後3時頃を予定しています。
 2 試験会場には受験者用の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
 3 試験当日は、昼食を用意してください。（ゴミは持ち帰っていただきます。）

6 合格後の留意事項

- (1) 原則として平成30年4月1日に採用します。
 (2) 給与等は、各人の経歴によって異なりますが、平成29年4月1日現在で次のとおりです。
 《4年制大学新卒の場合》
 採用時の給与等…約215,700円
 《採用時の年齢が35歳で大学院修士課程修了後美術館における職務経験が11年の場合》
 採用時の給与等…約321,600円
 《採用時の年齢が50歳で大学院修士課程修了後美術館における職務経験が26年の場合》
 採用時の給与等…約367,300円
 ・ 学歴や経歴などにより増減されることがあります。
 ・ 上記の給与のほか、諸手当として、
 期末・勤勉手当（1年間に給料月額などの4.30月分）、
 扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当等が支給されます。

- (3) 採用後は、「公権力の行使又は公の意思の形成への参画に携わる公務員となるためには日本国籍を必要とし、それ以外の公務員となるためには日本国籍を必要としない。」という公務員に関する基本原則に基づいた任用が行われます。

7 試験成績の通知

この採用試験を有効に受験して不合格となった場合は、試験成績を記載して通知します。

対象者	通知内容	通知方法
第1次試験 不合格者	第1次試験の総合得点、総合得点順位及び試験項目ごとの得点 ※試験項目ごとの得点は、専門試験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及びアピールシート試験の得点となります。	合格発表の際の 不合格者への本人 通知にあわせて お知らせします。
第2次試験 不合格者	第1次試験と第2次試験の総合得点、第1次試験の総合得点、第2次試験の総合得点、各総合得点順位及び試験項目ごとの得点	

8 アピールシートについて

- (1) 第1次試験で実施するアピールシートでは、あなたが広島県立美術館の学芸員として特に活かせると思う能力及びどのように活かしたいかということ、また広島県立美術館の学芸員として是非挑戦してみたい事柄について、具体的に記入してください。

なお、試験時間中は、経歴書や資料等を閲覧することはできません。

- (2) 経歴書はアピールシートの評価の際に参考資料として使用しますが、経歴の内容によりこの試験に有利（不利）になることはありません。

- (3) アピールシートは、第2次試験の際も参考資料として使用します。

9 その他の注意事項

- (1) 身体に障害があり、試験会場において配慮を必要とする場合は、申込の際に必ず広島県環境県民局環境県民総務課にご連絡ください。

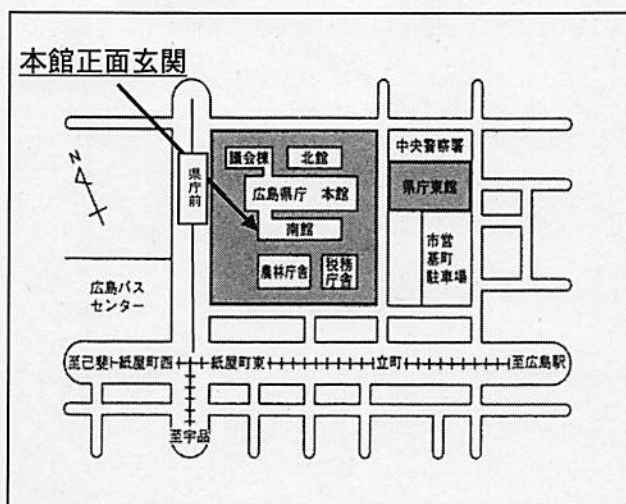
- (2) 申込書の記入内容に不明な点がある場合、広島県環境県民局環境県民総務課から電話又はメールにより問い合わせを行うことがあります。

- (3) この受験案内は、広島県のホームページからもアクセスできます。

【広島県ホームページ】

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/39/gakugeiin-boshu.html>

第1次試験会場案内



●広島県庁

※試験当日は本館正面玄関からお入りください。

○路面電車

紙屋町東又は紙屋町西電停から 徒歩約3分

○各社バス

紙屋町バス停又は広島バスセンターから徒歩約3分

○アストラムライン

県庁前駅から徒歩約2分

○広島駅・新白島駅から徒歩約25分

木高専総発第 71 号

平成29年11月 9日

関係機関の長 殿

木更津工業高等専門学校長

前 野 一 夫 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では下記により教員の公募をいたしますので、貴機関関係者への周知並びに適任者のご推薦について、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|------------|---|
| 1. 採用職名・人員 | 助教1名 (常勤 任期なし) |
| 2. 所 属 | 人文学系 |
| 3. 専 門 分 野 | 英語教育学, 英語学, 英米文学等 |
| 4. 担 当 科 目 | 準学士課程 英語に関わる科目全般及び一般特別セミナー等
専攻科課程 英語総合(1年) |
| 5. 応 募 資 格 | (1) 修士の学位を有する者またはこれと同等以上の教育および研究実績を有する者 (採用時までには修士の学位を取得見込みの者を含む)
(2) 独立行政法人国立高等専門学校機構の高等専門学校における教育研究に情熱を持ち、学生指導 (課外活動を含む) にも理解と熱意のある者
(3) 高等専門学校における英語教育に理解があり、ICT等を活用した英語教育を積極的に行っていこうとする者
(4) グローバル化及び地域貢献に理解と熱意のある者
(5) 外国語 (英語) の一種以上の高等学校教諭免許状を有していることが望ましい |
| 6. 採用予定日 | 平成30年4月1日 |
| 7. 提出書類 | (1) 履歴書 (指定様式に本人自筆, 写真貼付)
(2) 教育研究業績書 (指定様式に著書, 論文, 特許, 報告, 外部資金獲得等を記載) |

- (3) 著書・論文等の別刷 (コピー可, 主要なもの3編程度)
- (4) 研究業績概要 (A4判, 2000字程度, 様式任意)
- (5) 教育, 研究及び学生指導に対する抱負
(A4判, 2000字程度, 様式任意)
- (6) 所属長 (または指導教員等) の推薦書またはこれに準ずるものがあれば望ましい

※ 各指定様式は, 本校HPからダウンロードしてください。

<http://www.kisarazu.ac.jp/jinji.html>

8. 選 考 方 法

第1次選考 (書類選考), 第2次選考 (面接および模擬授業)

※ 面接に関わる旅費等は, 応募者の負担とします。

9. 応 募 期 限

平成29年12月20日 (水) 必着

10. 備 考

- (1) 木更津工業高等専門学校の教員が携わる授業以外の職務概要は, 別紙のとおりです。
- (2) 木更津工業高等専門学校は男女共同参画を推進しており, 業績 (教育業績, 研究業績, 社会的貢献, 人物を含む) の評価において同等と認められる場合には, 女性を優先的に採用します。
- (3) 地方公務員等から引き続き本校に採用されることとなった場合は, 退職手当は通算されません。
- (4) 応募者の個人情報, 木更津工業高等専門学校の教員を採用する目的のために利用するものであり, 第三者に提供または公表することはありません。
- (5) 高等専門学校の概要その他につきましては, 独立行政法人国立高等専門学校機構のHP <http://www.kosen-k.go.jp/> を参照願います。

11. 書 類 送 付 先

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1

木更津工業高等専門学校長 宛

※1 封筒の表に「人文学系英語科教員応募書類在中」と朱書き, 「簡易書留」で送付のこと。

※2 原則として, 提出された書類等の返却はいたしません。

12. 問 い 合 わ せ 先

「教育・研究に関すること」

人文学系 英語科主任 教授 荒木 英彦

電 話 0438-30-4051 (ダイヤルイン)

E-mail araki@h.kisarazu.ac.jp

「その他事務的なこと」

総務課 人事・労務係

電 話 0438-30-4007 (ダイヤルイン)

E-mail ajinji@a.kisarazu.ac.jp

木更津工業高等専門学校の教員が携わる授業以外の職務概要

本校は、「柔軟に対応できる人材」「独創性のある人材」「高い倫理観を持った人材」の育成と、大学とは異なる特色ある高等教育機関を目指しております。

このことから、教員が携わる職務は、幅広い学生の年齢層（本科：15～20 歳，専攻科：20～22 歳）に対応するため、教育・研究・学校運営のみならず学生指導や地域連携など多岐にわたります。

以下に、本校における授業（実験実習等を含む）以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

（１）学級担任

学級担任は、一学級 40 人程度の学生に対し学級運営を通じて勉学や生活指導など学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。

また、ホームルーム、教室清掃、球技大会や祇園祭（文化祭）など各種行事での学生指導に加え学生や保護者との面談なども行います。

（２）学校運営

学校運営のために、教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ、その他各種委員会があります。教員は、これらの委員会に学級担任などとの兼務あるいは複数の委員会に所属し、それぞれの業務を分担して行います。

また、校長を筆頭に教務・寮務・学生の三部門に主事を置き学校運営を行っており、主事補として各主事の補佐を行う役割を担い学校運営に携わります。

（３）教育、研究、地域連携

高専の教員は、教育、研究、地域連携、国際交流に積極的に取り組み、その成果を地域社会や国際交流への貢献につなげていくことが期待されています。また、研究の充実のため、科学研究費補助金等の外部資金獲得も重要視されています。

（４）クラブ指導

ほぼすべての教員が、クラブ指導教員として、日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテスト・祇園祭（文化祭）あるいは高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高等学校体育連盟などの各種大会及び練習試合の引率、合宿の指導などを行っています。

（５）学生寮の宿日直

原則として、全教員に学生寮の宿直業務（平日、土・日・祝日）又は日直業務（土・日・祝日）が割り当てられています。

平成29年度 公益財団法人和歌山県文化財センター
文化財専門職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験案内

【問い合わせ先】公益財団法人和歌山県文化財センター

〒640-8301 和歌山市岩橋1263番地の1

電話 073（472）3710

公益財団法人和歌山県文化財センターでは、文化財専門職員（埋蔵文化財担当）を採用するため、下記により職員の採用選考を行います。

和歌山県文化財センターでは、以下のような職員を求めています。

- (1) 発掘作業から報告書刊行までの発掘調査事業全体を統括する能力を有する者
- (2) 行政担当者、開発事業者、発掘調査請負業者などと調整を行いながら、調査期間や経費の配分などの工程管理ができる能力を有する者

受付期間 平成29年12月 1日（金）～12月22日（金）

郵送に限る（平成29年12月22日（金）までの消印のあるものにより受け付けます。）。

試験日時 平成30年 1月14日（日）9時20分～18時00分

面接試験は、14時30分以降1人ずつ開始しますが、終了者は順次退出（帰宅）できます。

当日受付 9時00分～ 9時10分

試験会場 和歌山県民文化会館（和歌山市小松原通一丁目1番地）

1 試験区分、採用予定人数及び職務内容

試験区分	採用予定人数	主な職務内容
文化財専門職員 （埋蔵文化財担当）	若干名	埋蔵文化財の発掘調査及びその保存、活用等に関する業務

2 受験資格

試験区分	資格要件
文化財専門職員 （埋蔵文化財担当）	次の①から③までの要件をすべて満たす者 ① 昭和53年4月2日以降に生まれた者 ② 学校教育法による大学（短期大学を除く。）若しくは大学院において、埋蔵文化財に関する専門課程を卒業（修了）し、若しくは採用予定日までに卒業（修了）見込みの者、又はこれらと同等の知識を有する者 ③ 埋蔵文化財発掘調査の経験を有する者

ただし、次のいずれかに該当する者は受験できません。

ア 日本国籍を有しない者

イ 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）

ウ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

エ 公務員等の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

オ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

【注：イ～オは、地方公務員法第16条に規定する者（エにあつては、公務員その他の公共団体の職員に係るものとする。）】

3 試験の日時、試験地及び合格発表

試験日・時間	試験地	合格発表
平成30年1月14日（日） 午前9時20分～午後6時 （午前9時10分までに着席してください。）	和歌山市	平成30年1月24日（水）までに選考結果を受験者全員に郵送で通知します。

(1) 試験会場は、和歌山県民文化会館（和歌山市小松原通一丁目1番地）6階特設会議室Bの予定です。

会場へのアクセスは本書末尾の「試験会場へのアクセス」を参照してください。

(2) 受付は、午前9時から9時10分までの予定です。

(3) 合格発表は、公益財団法人和歌山県文化財センターのホームページ（<http://www.wabunse.or.jp/>）でもお知らせします。

4 試験等の方法及び内容

種目	配点	内 容	試験時間
書類選考	100点	提出された応募調書（埋蔵文化財に関する経歴、自己アピール及び応募の動機）によるこれまでの研究等の内容や募集職種との適合性等についての書類選考	
専門試験 （択一式・記述式・論文）	500点	考古学、歴史学、保存科学等に関する専門的知識・能力についての筆記試験及び一定のテーマによる識見、表現力、判断力等についての記述試験	120分
実技試験	150点	土器の実測図作成等（実測用具持参）	40分
教養試験 （択一式）	100点	通常の職務遂行に必要な一般的知識及び能力についての筆記試験（大学卒業程度）	30分
適性検査		通常の職務遂行に必要な適性についての検査	30分
面接試験	150点	専門的な知識・能力、人物、志望動機、使命感等についての個別面接	1人10分程度

※ 合格者は、総合得点順に決定します。ただし、総合得点及び各試験種目には合格基準がある。

り、一つでも基準に達しない種目がある場合は、総合得点が高くても不合格となります。

5 受験手続及び受付期間

(1) 申込用紙の配布場所

公益財団法人 和歌山県文化財センター事務局
〒641-8301 和歌山市岩橋1263番地の1
電話 073-472-3710

〈申込用紙を郵便で請求する場合〉

封筒の表に「文化財専門職員採用選考試験申込用紙請求」と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（角形2号、A4用紙が入る大きさ）を必ず同封して、公益財団法人和歌山県文化財センター事務局へ請求してください。

〈申込用紙をダウンロードする場合〉

和歌山県文化財センターのホームページから採用選考試験申込書及び「応募調書の作成要領」を印刷してください。

(2) 申込方法

採用選考試験申込書及び応募調書に必要な事項を記入し、返信用定形封筒（受験票送付用）同封の上、公益財団法人和歌山県文化財センター事務局宛に郵送してください。

郵送にあたっては、必ず簡易書留郵便とし、封筒の表に「文化財専門職員採用選考試験申込み」と朱書きしてください。これ以外の方法による不着の問題には、一切対応できません。

- ・ 採用選考試験申込書（縦45mm×横35mm程度の顔写真を必ず貼付してください。）
- ・ 応募調書（「応募調書の作成要領」に従い作成し、提出してください。）
- ・ 受験票送付用定形封筒（長形3号：縦235mm横120mm）（自分の住所及び郵便番号並びに氏名を明記し、82円切手を必ず貼付してください。）

(3) 受付期間

平成29年12月1日（金）から受付を開始し、平成29年12月22日（金）までの消印のあるものに限り受け付けます。

(4) 受験票の交付

申込書を受理した場合は、郵送により交付します。なお、受験票が平成30年1月5日（金）までに到着しない場合には、公益財団法人和歌山県文化財センター事務局まで至急連絡ください。

6 合格から採用まで

- ① この試験の合格者は、平成30年4月1日採用予定です。
ただし、採用時期は、あくまでも予定とします。
- ② 採用時の給料月額は、178,200円（平成29年4月1日現在）で、経歴その他に応じて一定の額が加算されます。このほか公益財団法人和歌山県文化財センター職員給与規程の定めに従い、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等が支給されます。
- ③ 勤務時間は、原則として、月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時45分まで（休憩1時間を含む。）の7時間45分です。このほか、職員の就業については、公益財団法人和歌山県文化財センター職員就業規程の定めによります。

7 試験結果の開示

この試験の結果については、選考結果を受験者全員に郵送で通知した後、受験者本人が口頭で開示請求することができるものとします。開示を希望する者は、以下により受験者本人が受験票又は本人であることを証明する書類（運転免許証、旅券等の顔写真付きで公的機関発行のものに限る。）を持参の上、公益財団法人和歌山県文化財センター事務局に請求してください。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
受験者	本人の総合得点及び 総合得点順位	合格発表の日から1月間	和歌山県文化財センター 事務局

8 その他

- ① 試験会場内は禁煙です。また、試験時間中の携帯電話の使用を禁止します。
- ② 試験会場付近は、駐車禁止となっています。公共交通を利用するか有料駐車場を利用するなどして来場してください。（迷惑駐車を発見した時は、受験できない場合があります。）
- ③ 台風・地震などの非常時は試験日程等を変更することがあります。その場合は、当日の午前7時に変更の有無を決定します。受験者において判断がつきにくい場合は、当日の午前8時までに事務局へ電話して確認してください。

【試験会場への交通アクセス】

試験会場：和歌山県民文化会館（和歌山市小松原通一丁目1番地）

○南海電鉄「和歌山市駅」より

- ・徒歩 約20分
- ・タクシー 約5分
- ・バス 約10分（9・10番のりば）
「県庁前」バス停下車（バス停より約300m・徒歩約4分）

○JR「和歌山駅」より

- ・徒歩 約35分
- ・タクシー 約10分
- ・バス 約10分（2番のりば）
「県庁前」バス停下車（バス停より約300m・徒歩約4分）

○阪和自動車道「和歌山I・C」より

- ・車で約15分・約5km

応募調書の作成要領

「応募調書」は、平成29年度公益財団法人和歌山県文化財センター文化財専門職員（埋蔵文化財担当）の採用選考試験申込書に添付して提出してください。

申込書に添付する応募調書には、下記の事項をできる限り詳しく記入してください。
用紙は、A4版＜日本工業規格＞（2枚以内）を用いてください。容量（字数）は自由です。

1 埋蔵文化財に関する経歴

（1）大学等での経歴

- ・ 学部での専攻分野、研究内容、卒業論文等
- ・ 大学院にあっては、研究テーマとその概要
- ・ これまでに発表した論文名（学会誌、機関誌、発表場所等を明記のこと。）及びその他の著作物（調査研究報告書等）の書誌名
- ・ その他

（2）発掘調査機関、研究機関等での経歴

- ・ 埋蔵文化財発掘調査等に関係する主な職歴及び担当した業務の内容（具体的に）
- ・ これまでに発表した論文名（学会誌、機関誌、発表場所等を明記のこと。）及びその他の著作物（調査研究報告書等）の書誌名
- ・ その他

※ 経歴や職歴の概要、その他の論文や報告書等の概要を記入してください。

※ 主な発表論文（2点以内）の写しを添付してください。（ただし、卒業論文等で総ページ数が20ページを超え、別刷りのない著作物については、研究テーマ、著作名及び発行年の分かるページの写しと、方法、結果、考察の概要が分かるページの写しでもよいこととします。）

2 自己アピール

- ・ 性格、特技、趣味、体験、クラブ活動、ボランティア活動などの自己紹介

3 応募の動機

- ・ 公益財団法人和歌山県文化財センター文化財専門職員（埋蔵文化財担当）を希望した理由
- ・ 公益財団法人和歌山県文化財センター文化財専門職員（埋蔵文化財担当）として取り組みたいこと等

平成29年度 公益財団法人和歌山県文化財センター採用選考試験

申 込 書

私は、公益財団法人和歌山県文化財センター採用選考試験を受験したいので申し込みます。
 なお、私は受験資格を満たしており、受験資格のただし書きア～オのいずれにも該当しておりません。
 また、申込書記載事項に相違ありません。

平成29年 月 日

(フリガナ)
 氏 名(自署)

受験番号	※
------	---

○ 記入心得を必ず読んで記入してください。

フリガナ			
氏 名			
生年月日	年	月	日 (歳)
フリガナ			
現住所	〒 —		
	電話番号		
フリガナ			
連絡先	〒 —		
(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)	電話番号		
合格通知書送付希望先	現住所 ・ 連絡先 (○で囲む)		
学 歴	最終学校名	学部・学科名	
	在学期間	昭・平 年 月 ～ 昭・平 年 月 (卒・修了・卒業見込・修了見込)	
	上記の前の学校名	学部・学科名	
	在学期間	昭・平 年 月 ～ 昭・平 年 月 (卒・修了・中退)	

(写真欄)

裏面全体にのりをつけてはって
 ください。

- ・ 大きさ縦45mm×横35mm
- ・ 申込み前6ヶ月以内に撮影
- ・ 無帽、上半身、正面向
- ・ 写真の裏面に氏名を記入。

○ 記入心得

- 1 記載事項に不正があると受験が無効になる場合があります。
 申込をするときは、採用選考試験案内をよく読んで記入してください。
- 2 受験番号※を除くすべての欄にもれなく記入してください。
- 3 記入はすべて自筆で、黒のペン又はボールペンをうい、かい書でていねいに書いてください。数字は算用数字をうい、フリガナはカタカナで、年月日は和暦で記入してください。
- 4 学歴は最終の学校(学部・学科)から新しい順に書いてください。
- 5 在学期間の終期については、卒業見込みの人については卒業見込み年月を記入してください。
- 6 申込者は、応募調書を添付し、受験票の返信用封筒(自分の住所、郵便番号、氏名を明記した上で、必ず82円切手をはること。)を同封してください。

平成30年度東京大学史料編纂所「助教」公募要領

I. 募集する分野及び人員、職務内容

近世・維新分野 1名、 日本に関する史料の研究、編纂及び出版業務に従事します。

II. 応募資格

下記の条件をいずれも満たす者

1. 史学（または史学に関わる分野）を専攻し、修士課程を修了した者（平成30（2018）年3月修了見込みの者を含む）
2. 昭和60（1985）年4月2日以降出生の者

※長期勤続によるキャリア形成を図る観点から、上記年齢の方を募集します（雇用対策法施行規則第1条の3第1項3号のイ）。

III. 採用予定日

平成30（2018）年6月1日

IV. 選考方法

選考は、応募者全員について筆記試験を行い、その合格者に対し論文審査及び口述試験を行います。

1. 筆記試験

- ① 近世・維新史料のテストを主としますが、英語及び古代・中世史料のテストも含みます。
- ② 英語テストは、近世・維新分野の研究者に要求される一定の習熟度、外国語への親近度を試すもので、高度の専門的能力を要求するものではありません。

2. 口述試験

主として、提出された論文または著書の内容について試問を行います。

※選考の結果、適任者がいない場合は採用しないことがあります。

V. 試験日及び場所

1. 筆記試験

- (1) 日 時 : 平成30（2018）年2月15日（木）
12時45分から16時45分まで。
受験者は12時30分までに集合してください。
- (2) 場 所 : 東京大学史料編纂所

2. 口述試験

- (1) 日 時 : 平成30(2018)年3月26日(月)
実施時刻は筆記試験合格者に連絡します。
- (2) 場 所 : 東京大学史料編纂所

VI. 提出書類、提出期日及び提出方法

1-1. 出願時に提出する書類

- (1) 履歴書(東京大学指定様式、別紙様式1 [No. 1 及びNo. 2])

※本学ホームページ http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html から上記の様式をダウンロードして作成してください。

- (2) 最終学歴の修了(見込)証明書

- (3) 最終学歴の成績証明書

- (4) 論文・著書リスト(本所指定様式、別紙様式2による)

a) 筆記試験合格者には論文審査を行うので、その際に審査を受けることを希望する論文または著書1点に○印を付してください。

b) 審査を希望する論文に限り、未発表のものでも可とします。

- (5) 上記○印を付した著書または論文の概要

A4判用紙横向き使用で縦書き、日本語で4,000字以内。

1-2. 提出期日及び提出方法

平成30(2018)年1月25日(木)までに下記宛に持参するか、簡易書留で郵送してください(郵送の場合1月25日必着)。

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学史料編纂所総務チーム

2-1. 筆記試験合格者が提出する書類

さきに提出した「論文・著書リスト」で○印を付した論文または著書1点。

2-2. 提出期日及び提出方法

筆記試験合格の通知を受けた後、平成30(2018)年2月28日(水)までに、史料編纂所総務チームへ持参するか、簡易書留で郵送してください(郵送の場合2月28日必着)。

3-1. 口述試験合格者が提出する書類

- ・最新の履歴書(東京大学指定様式)
- ・住民票記載事項証明書

3-2. 提出期日及び提出方法

合格者へ別途通知します。

VII. 筆記試験合格者及び口述試験合格者(採用予定者)の決定

1. 筆記試験合格者 平成30(2018)年2月22日(木)
2. 口述試験合格者 平成30(2018)年4月26日(木)

VIII. 注意事項、その他

1. 提出書類を郵送する場合は、封筒に「応募書類」と朱書してください。
2. 提出書類を持参する場合は、平日10時から17時までに提出してください。
ただし、12時から13時までを除きます。
3. 筆記試験及び口述試験の結果は、各試験の受験者全員に通知します。
4. 提出書類は返却しません。
5. 過去の試験問題(筆記試験)を、本所において閲覧することができます。

詳細は下記に問い合わせてください。

助教公募に関する問い合わせ先及び受付時間

東京大学史料編纂所総務チーム (東京大学赤門入って左側建物)

電話 03-5841-0256

問い合わせ時間 平日10時～17時

履 歴 書

		平成 年 月 日 現在							
(2)	ふりがな								
	氏 名								
(3)	生 年 月 日	年 月 日 (年度末年齢 歳)							
	住 所	〒							
	電 話 番 号	(自 宅) - - -		(携 帯) - - -					
	メールアドレス								
(1) 写真貼付 作成日前6月以内に撮影した鮮明な写真(白黒・カラーどちらでも可、上半身、正面向、脱帽) タテ 3.5 ~ 4.0 ヨコ 3.0 ~ 3.5									
(4)	高 等 学 校	年 月	学校等名称(学校、学科)		修了区分				
(5)	大 学 院 大 学 短 大 高等専門学校 専門学校等	年 月	年 月	学校等名称(学校、学部、学科、コース)	修了区分	夜間・通信			
(6)	大 学 院	年 月	年 月	学校等名称(学校、研究科、専攻・講座・課程)	修了区分	取得単位数			
						(単位)			
						(単位)			
						(単位)			
(7)	学 位	年 月	学位区分	専攻分野	取得学校名	年 月	学位区分	専攻分野	取得学校名
(8)	免 試 資 格 (免許等一覽記載のもの)	年 月 日	名 称						
(9)	免 試 資 格 (そ の 他)	年 月 日	名 称		認定機関				
(10)	特 記 事 項								

氏 名 _____

(1)

その他の期間(職歴等)						所 属 組 織	所在地(市区町村名まで)	職 名	職務・研究従事内容	勤務態様
年	月	～	年	月	(退職見込を含む)					
		～								
		～								
		～								
		～								
		～								
		～								
		～								
		～								
		～								

◎注意事項
記入に当たっては、「履歴書記入要領」をよく読んでください。

本履歴書記載内容に相違ありません。

署 名 _____

別紙様式2

論文・著書リスト

氏 名	
-----	--

審査 希望	論 著 文 書 名 名	発行年月 刊行年月	掲載雑誌巻号 刊行出版社

*審査を受けることを希望する論文または著書について、審査希望欄に○印を付してください。